

村上忠順翁顕彰会からのお知らせ

村上忠順翁顕彰

会長 石川 嘉仁

下記のように開催します。

皆様方のご参加をお待ちしております。

令和8年度

定例総会・忠順大賞表彰式

にいちゃんに手をひかれていった学校へ

つぎはいもと ぼくが手をひく

第20回「忠順大賞」の短歌応募作品1,336首の中から、豊田市長賞に輝いた駒場小学校2年生の作品です。

日 時 令和8年5月23日(土)9:30～受付開始

会 場 前林交流館 多目的ホール ☎ 52-5474

式次第 10:00～ 定例総会

10:30～ 「第20回忠順大賞」表彰式

作品講評 久米翠雲先生

第二十回 忠順大賞

(令和七年度)

入賞作品

・応募総数 一三三六首
・久米翠雲先生 選評

小学生の部

豊田市市長賞

駒場小学校二年 磯部 旭
にいちやんに手をひかれいった
学校へ

つぎはいもうと ぼくが手をひく

*ぼくが一年生の時、兄がぼくの手を
ひいて学校へ連れて行ってくれた。
今度はぼくの番。二人の姿が浮かぶ。
兄弟愛がいいですね。

豊田市議会議長賞

堤小学校六年 奥 奏音

ありがとう毎日使ったランドセル
小さく感じた六年生

*一年生の時は、ランドセルが重く大
きく感じた。おかげで、背も伸び、
体が大きくなって、ランドセルが小
さくなった。感謝の思いがいい。

豊田市教育委員会賞

前林中学校二年 原 慧吾

息白くよいしよよいしよとつく餅で
地域をつなぎ 心はほかほか

*今はとかく地域をつなぐ力が弱まって
います。自治区の大人から子供ら参
加の餅つき行事。凄い。

中日新聞社賞

前林中学校三年 金子 史佳

初運転助手席に乗り横を見る
気づけば姉は大人になって

*姉が車の免許を取る。初乗り。下の句
は親の感覚ですね。姉弟仲良しの思い
が伝わってくる。

会長賞 金賞

前林中学校二年 中村 美咲

おとうとと仲良く遊ぶサッカーで
姉は息切れ おとうと元気

*姉弟仲良くサッカーを。弟は今何年
生? まだまだ負けないで! 美咲さ
んはまだ中二ですから。

会長賞 銀賞

前林中学校三年 塩崎 伊織

三年間使い続けたカバン置き
ひらいて見れば新たな地図が

豊田市教育委員会賞

駒場小学校六年 北島 蓮翔
年の瀬にいとこそろってしめ縄を
祖父に教わり笑いあふれる

*縄をなうこと自体少なくなつた今。
祖父に教わりながらしめ縄をなう。
素晴らしい。上手くなえなくても
皆、和気あいあい。

中日新聞社賞

堤小学校三年 浦田 芳華

クリスマス サンタこないよ
まつてるよ

だいこうサーピスママサンタきた
*非常に楽しい。詠者は全て分かっている。
下の句が現代っ子の感覚や生活
の様子を理解している。すごいです
ね。

会長賞 金賞

堤小学校三年 佐々木裕梨

ひとつずつリリースにおかしかったよ
食べおわるころにはクリスマス

*輪飾りに、自分の好きなお菓子を飾
った。持ちきれずに食べ、クリスマ
スには無くなった。楽しい!!

*三年間使い続けた靴。そこには僕の歴
史がある。また新たな僕の未知の世界
が広がる。良いよ。

会長賞 銅賞

前林中学校一年 手寫 華菜

寒い朝祖母と作ったかがみもち
冬を飾った大切な思い出

*師走の暮れ。正月用の鏡餅。祖父母
とお話ししながら楽しく作った。一緒
に作れたのが最高に良い。

優秀賞 (三名)

中田町 柴田 文志

秋に汗 老コンバインうなる音
豊作だぜと機械(あたま)をなでる

*老コンバインが頑張ってくれた。「老」に
長年の重みがある。下の句が良い。い
い秋の汗ですね。

秋の空響きわたる産声は
新たな命に家族は涙

前林中学校一年 折田 歩結
*元気に生まれた子の産声。澄み切った
秋の空に響く。無事生まれた生命に、
家族の感動の涙。

会長賞 銀賞

堤小学校六年 松川 柚華

遊園地ひとりでのったコースター
さけびすぎだよ となりのおじさん
*相席のおじさん。大人なんですよ、怖
がりのお隣さん、もう乗らない方が...
痛快な作品だね。

会長賞 銅賞

堤小学校四年 井村 梨杏

パズル会 さいこの一つはめたとき
さむい冬でも心ぼかぼか

*「出来た!」嬉しさ、達成感。井村さ
んは、それを下の句で、十分表現して
います。いい作品です。

優秀賞 (二名)

堤小学校一年 杉浦 壮馬

さつまいもスイートポテトに
大へんしん

みんなでそだてた おもいでのおじ
*さつまいもを苗から育てたんだね。頑
張った分のおいしさがある。良かったね。
上の句が面白い。

駒場小学校六年 榊原 望来

いるかもなダイヤマークのその先に
ゆっくり走り 止まってどうぞ

前林中学校三年 石川 光咲

打楽器のリズムと鼓動重なって
指揮棒めがけ一音入魂

*プラスチック部の晴れの舞台、コンク
ーにおける意気込み。下の句から凄い
集中力が伝わる。

※無審査

「市長賞」授賞歴のある三名の方の優れ
た作品を無審査としました。

前林町 酒井 雅子

湯たんぽの昭和の漂う温もりは
母に抱かれた遠い日のよう

*戦前のブリキ(トタン)で出来た湯た
んぽ。穏やかな温もりが母を懐かし
く想い出させる。

高岡町 早川 寛子

猛暑日の暮れて望月澄み渡り
眺める庭に虫の音流る

*まだ猛暑日の暮れ、スーパームーン
を見上げています。庭のどこからか、
虫の音が。征に秋の風情。

駒場町 清水 宣子

寒のうち籠もり進めし手仕事の
今日は仕上がる雛の絵キルト

*お母さんの運転で感じたことを聞き、
調べたんだね。すごいよ。思いやり運
転を身に付けたね。

堤小学校二年 杉浦 伊織
どくしよはね あつというまに
すぎていく

今日も行こうかひみつのせかい
*本好きの伊織君。素晴らしい。読むの
も早い。下の句が良い。楽しく読書を
続けてください。

中学・一般の部

豊田市市長賞

稲武町 林 泰子

夫(つま)逝きて一周忌すぎ秋の暮
くせになりたるため息ひとつ

*夫が亡くなり一年経つのに想い出す
ばかり。秋の暮れは寂しさを誘う。下
の句から切なさが滲む。

豊田市議会議長賞

岩倉町 宇野真知子

子を育て夫を支えて家(や)を守り
一途に生きて母は逝きたり

*下の句の「一途に生きて」から昭和の
母親の姿が浮かびます。子、夫、家
を守って逞しく生きた一生。

*やや暇な時期、ひな祭りの近い時期。
好きな趣味の一つ、キルト。今日は完
成。嬉しい、楽しい。

※作品表記は原文のまま。

今年も総数一三三六首の応募を頂
き、久米翠雲先生による最終審査に
より二十三名の方が入選されました。
おめでとうございます。

応募作品を拝見して、思
わず笑みが漏れたり、そうだよな...
と頷く作品がとて多かつたように
思います。小、中学生の皆さんの痛
快とも思える表現の仕方にとても感
動いたしました。このまま忠順翁の
ように短歌を生涯の友として作品を
詠んでいつてもらえたらと願うばか
りです。

一般の方も地域内外から沢山の応
募を頂きました。二十回目を迎えま
して、改めて感謝と和歌の広がり
を感じています。

授業、行事などで大変お忙しい中、
指導・協力していただいています小学
校、中学校の先生方、応募していただ
いた大勢の方に感謝致します。

(事務局 川村)